

エコアクション 21

環境経営レポート

活動期間 2023 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日



本社・工場



多治見工場

発行日 2024 年 8 月 20 日

改定日 2025 年 2 月 20 日

株式会社 水谷鉄工所

目 次

1.組織の概要	… 1
2.対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間、発行日	… 1
3.環境経営方針	
(1) 企業理念	… 2
(2) 環境経営方針	… 2
(3) 実施体制	… 3
(4) 組織の役割・責任・権限	… 3
4.環境経営目標	… 4
5.環境経営計画及び環境経営計画に基づき実施した取組内容	
(1) 環境経営計画と取組内容	… 6
(2) CSR 活動と安全対策	… 7
6.環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価並びに 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	
(1) 環境経営目標の実績	… 8
(2) 2022 年度の環境経営計画の取り組み結果とその評価	… 10
7.環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	… 11
8.代表者による全体評価と見通し・指示	… 12

1.組織の概要

- | | |
|-------------|--|
| (1) 事業者名 | 株式会社 水谷鉄工所 |
| (2) 代表者氏名 | 代表取締役 水谷 太一 |
| (3) 所在地 | 本社・工場 〒462-0036 名古屋市北区長喜町二丁目 36 番地
多治見工場 〒507-0901 岐阜県多治見市笠原町 1647-324 |
| (4) 環境管理責任者 | 管理責任者 水谷 太一
連絡先 TEL 052-914-0222 |
| (5) 事業内容 | 自動車用及び産業用機械加工部品の製造 |
| (6) 事業規模 | 生産数 2023 年度 870,332 個
従業員数 35 名(2024 年 4 月現在)
創 業 1925 年
多治見工場稼働 2014 年 1 月
床面積 本社・工場 1,226 m ²
多治見工場 1,564 m ²
資本金 1,000 万円 |

2.対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間、発行日

- | | |
|--------------|--------------------------------|
| (1) 組織 | 本社・工場
多治見工場 |
| (2) 活動 | 前記事業内容とおり |
| (3) レポート対象期間 | 2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日 |
| (4) 発行日 | 2024 年 8 月 20 日 |

3.環境経営方針

(1) 企業理念

1. 品質至上
2. 安全及び社会・自然との共生
3. 創造性とチャレンジ

(2) 環境経営方針

当社は自動車部品・機械部品を切削加工するメーカーであり、名古屋の北に本社工場を、岐阜県に多治見工場を有しています。

この地域環境を豊かに保つことが企業の責任と考え、下記の事項を実施します。

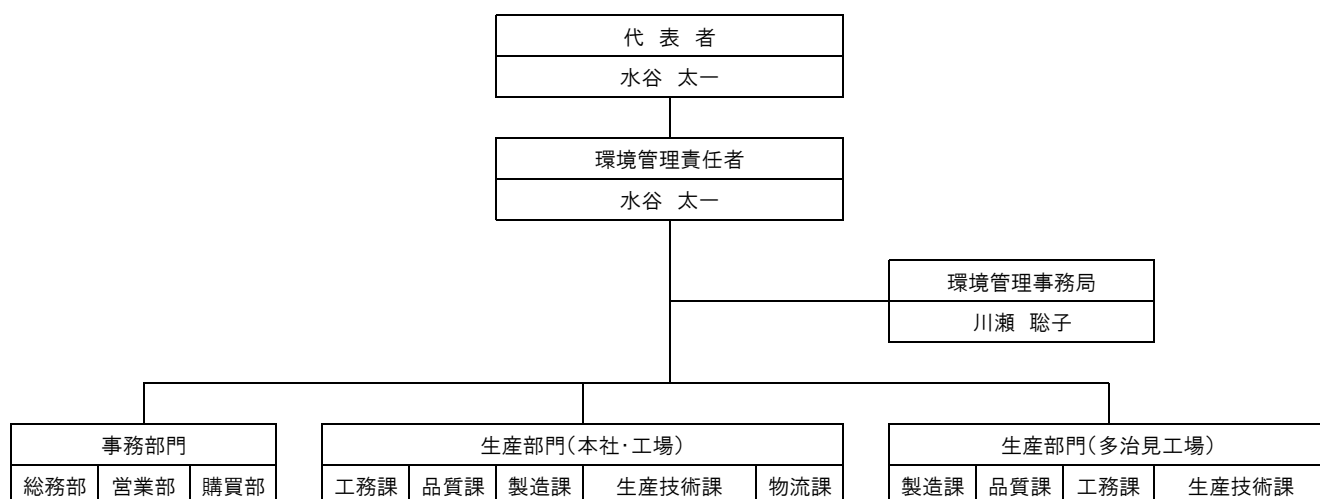
1. 環境に関する法規制等及びその他の同意する要求事項を遵守します。
2. 環境管理推進のため目標を決めて、計画的な実行と継続的改善によって環境保全に努めます。
 - (1)電力、化石燃料使用量を低減し、CO₂排出量の低減に努めます。
 - (2)水使用量の低減に努めます。
 - (3)一般及び産業廃棄物の分別と再利用化に努め、廃棄物排出量低減をめざします。
 - (4)工程内不良を低減し、環境にやさしい生産に努めます。
3. 地域社会の一員として責任を持ち、全従業員が環境・資源を大切にして、省エネルギー及び汚染の予防に努めます。
尚、本方針は内外に開示します。

制定日 2000 年 6 月 8 日

改定日 2021 年 3 月 12 日

株式会社水谷鉄工所
代表取締役 水谷 太一

(3) 実施体制



(4) 組織の役割・責任・権限

代表者	・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営システムの総責任者 ・環境経営方針の制定・見直し ・資源(人員・設備・費用) ・実施体制の構築 ・全体の取組状況の評価と見直し・指示
環境管理責任者	・環境経営計画・環境経営目標の承認 ・実施状況の確認 ・環境経営レポートおよびシステム運用の確認 ・環境経営システムの構築・運用・維持
環境管理事務局	・環境経営計画・目標の作成 ・環境経営およびシステム運用上の事務管理 ・環境経営の実績集計 ・環境経営レポートの作成
各部門責任者	・部門内における活動の推進・提案 ・各部門における問題点の発見・是正・予防の提案と実施
全従業員	・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動への参加

4.環境経営目標

原単位の 基本 2021年度 年間生産数(個)	本 社	458,945	全 社	1,132,672
	多治見	673,727		

環境方針 目標	項 目	工場名	単 位	年間低減目標(年度は4月から翌年3月)			
				2021年度 基準年度	2022年度目標 1%削減	2023年度目標 2%削減	2024年度目標 3%削減
CO ₂ 排出量 低減	電 力 使用量	本 社	kg-CO ₂ /生産数 (千個あたり)	277.57	274.79	272.02	269.24
			CO ₂ 排出量総量 (kg-CO ₂)	127,388	126,114	124,840	123,566
			使用量(kWh)	335,232	331,880	328,527	325,175
		多治見	kg-CO ₂ /生産数 (千個あたり)	427.88	423.60	419.32	415.04
			CO ₂ 排出量総量 (kg-CO ₂)	288,276	285,393	282,510	279,628
			使用量(kWh)	758,622	751,036	743,450	735,863
	軽 油 使用量	本 社	kg-CO ₂ /生産数 (千個あたり)	37.68	37.30	36.93	36.55
			CO ₂ 排出量総量 (kg-CO ₂)	17,291	17,118	16,945	16,772
			使用量(ℓ)	6,702	6,635	6,568	6,501
	ガソリン 使用量	全 社	kg-CO ₂ /生産数 (千個あたり)	6.80	6.73	6.66	6.60
			CO ₂ 排出量総量 (kg-CO ₂)	7,701	7,624	7,547	7,470
			使用量(ℓ)	3,319	3,286	3,253	3,219
	都市ガス 使用量	本 社	kg-CO ₂ /生産数 (千個あたり)	4.07	4.03	3.99	3.95
			CO ₂ 排出量総量 (kg-CO ₂)	1,866	1,847	1,829	1,810
			使用量(m ³)	864	855	847	838
	プロパン 使用量	多治見	kg-CO ₂ /生産数 (千個あたり)	0.82	0.81	0.80	0.80
			CO ₂ 排出量総量 (kg-CO ₂)	550	545	539	534
			使用量(kg)	183	181	179	178
	リフト用 プロパン 使用量	本 社	kg-CO ₂ /生産数 (千個あたり)	2.55	2.52	2.50	2.47
			CO ₂ 排出量総量 (kg-CO ₂)	1,170	1,158	1,147	1,135
			使用量(kg)	390	386	382	378
	合 計	合 計	kg-CO ₂ /生産数 (千個あたり)	392.21	388.29	384.36	380.44
			CO ₂ 排出量総量 (kg-CO ₂)	444,242	439,799	435,357	430,915

5.環境経営計画及び環境経営計画に基づき実施した取組内容

環境方針 目標	項 目	工場名	単 位	年間低減目標（年度は4月から翌年3月）			
				2021年度 基準年度	2022年度目標 1%削減	2023年度目標 2%削減	2024年度目標 3%削減
水使用量 低 減	水使用量	本 社	m ³ /生産数 (千個あたり)	1.01	1.00	0.99	0.98
			総 量(m ³)	465	460	456	451
		多治見	m ³ /生産数 (千個あたり)	0.56	0.55	0.55	0.54
			総 量(m ³)	374	370	367	363
廃棄物 排出量 低 減	一般廃棄物 排出量	本 社	kg/生産数 (千個あたり)	0.92	0.91	0.90	0.89
			総 量(kg)	422	418	414	409
		多治見	kg/生産数 (千個あたり)	0.86	0.85	0.84	0.83
			総 量(kg)	580	574	568	563
	産業廃棄物等 排出量	本 社	kg/生産数 (千個あたり)	269.80	267.10	264.40	261.71
			総 量(kg)	123,823	122,585	121,347	120,108
		多治見	kg/生産数 (千個あたり)	264.57	261.92	259.28	256.63
			総 量(kg)	178,250	176,468	174,685	172,903
工程内不良 低減	工程内不良率	本 社	不良率(%)	0.46	0.34	0.38	0.32
		多治見		0.80	0.63	0.61	0.49
製品への 環境配慮	顧客へ納入する製品について、SOC10物質が非含有であることを宣言し、今後も継続して非含有であることを証明する。						
地域社会と の共存	学区行事参加、美化運動・苦情の受付と対応。						

・電気使用量のCO₂排出量換算係数は、中部電力の2021年度値0.388kg-CO₂/kWhを使用する。

・生産数には加工不良数は含まない。

・工程内不良率は前年、前々年の実績合計の平均値から10%削減した値とした。

(工程内不良率実績:2020年度 本社0.29%、多治見工場0.60%、2021年度 本社0.46%、多治見工場0.80%、2022年度 本社0.39%、多治見工場0.55%、2023年度 本社0.31%、多治見工場0.53%)

・化学物質に関しては、極めて少量使用しているため、作成目標は設定せず、適正管理のみ実施する。

(1) 環境経営計画と取組内容

CO ₂ 排出量低減	取組内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	担当部門 責任者
電力使用量の低減	・冷暖房温度管理(夏27℃、冬20～22℃)	← 冷房 → ← 冷暖房管理表で管理する → ← 暖房 →												全部門 部署責任者
	・不要時電源OFFの徹底	← 使用後に電源を切る →												全部門 部署責任者
	・エアコンフィルターの定期清掃	← 清掃チェック表で管理する →												全部門 部署責任者
	・デマンド監視装置で管理	← →												全部門 部署責任者
	・エアー漏れの点検(1回/日)	← 設備点検チェック表で管理する →												全部門 部署責任者
ガソリン・軽油 使用量の低減	・車買い替えの際、エコカーを優先し購入	購入時(この期間は購入なし)												全部門 部署責任者
	・エコドライブの実施	← 表示して意識を高める →												全部門 部署責任者
	・アイドリングストップの実施	← 表示して意識を高める →												全部門 部署責任者
都市ガス・プロパンガス 使用量の低減	・お湯の設定温度の適正化	← 表示して意識を高める →												全部門 部署責任者
リフト用プロパンガス 使用量の低減	・必要時のみ使用	← →												全部門 部署責任者
水使用量低減	取組内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	担当部門 責任者
節 水	・手洗い時の節水の敢行(節水表示)	← 表示して意識を高める →												全部門 部署責任者
	・漏水の点検	← 清掃チェック表で管理、必要時に点検する →												全部門 部署責任者
廃棄物排出量低減	取組内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	担当部門 責任者
一般廃棄物の低減	・コピー用紙の裏紙利用、使用済み封筒の再利用	← →												事務部門 部署責任者
	・分別の徹底	← →												事務部門 部署責任者
	・廃棄物の排出量の把握	← 清掃チェック表で管理する →												事務部門 部署責任者
産業廃棄物等の低減	・金属くずの再利用	← →												生産部門 部署責任者
	・廃液の排出量を把握し、法遵守	← 必要時にマニフェストを作成し管理する →												事務部門 部署責任者
工程内不良低減	取組内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	担当部門 責任者
製造工程における不適合の低減	・工程内不良率低減活動	← 工程内不良集計表を作成、定例会議(月1回)で確認 →												生産部門 部署責任者
製品への環境配慮	取組内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	担当部門 責任者
化学物質の適正管理	・SOC10物質の非含有宣言及び証明の継続	← 必要時にSOC10物質非含有証明書を発行する →												事務部門 部署責任者
地域社会との共存	取組内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	担当部門 責任者
会社周辺の清掃	・学区の美化運動に協力(年2回)	← 美化運動(町内清掃)に参加する →												事務部門 部署責任者
苦情受付	・地域社会からの要望、苦情への対応	発生時(この期間は苦情等なし)												事務部門 部署責任者
安全対策	取組内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	担当部門 責任者
消防訓練の実施	・避難、点呼、消火器・消火器設備の使用方法的確認	← 消防訓練の実施 →												事務部門 部署責任者
	・リフト運転中の注意喚起	← 消防訓練の実施 →												事務部門 部署責任者

(2) CSR 活動と安全対策

環境経営計画の周知

- ・社員への周知徹底

年 2 回の方針説明会で環境活動計画書を配布し説明。環境活動の報告、積極的な参加と協力をお願いしました。

- ・新入社員への説明

入社時に新入社員教育資料ファイルを配布し、環境活動の説明を行いました。

提案制度の実施

- ・提案制度を設け、品質やコスト、作業の改善についての提案を募集。年一人 1 件を目標に積極的に改善提案をし、採用された提案の提案者を表彰しました。

美化運動

会社周辺を清掃。地域学区の美化運動に参加しました。



本社・工場



多治見工場

消防訓練の実施

本社・工場、多治見工場それぞれで実施しました。

- ・消火器訓練 避難→点呼→消火器、パッケージ型消火設の使用方法的確認を行いました。
- ・リフト運転中の注意喚起



本社・工場



多治見工場

6.環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

(1) 環境経営目標の実績

原単位の基本 2021年度 年間生産数(個)	本 社	458,945	全 社
	多治見	673,727	1,132,672
原単位の基本 2023年度 年間生産数(個)	本 社	332,916	全 社
	多治見	537,416	870,332

※評価 ○：目標達成、△基準年より減、×：目標未達成

環境方針 目標	項 目	工場名	単 位	基準値と目標		実績と評価		
				2021年度 基準年度	2023年度 目標	2023年度実績	増減率	評 価
CO ₂ 排出量 低減	電 力 使用量	本 社	kg-CO ₂ /生産数 (千個あたり)	277.57	272.02	345.11	+24.33%	×
			CO ₂ 排出量総量 (kg-CO ₂)	127,388	124,840	114,892	-9.81%	○
			使用量(kWh)	335,232	328,527	296,114		
		多治見	kg-CO ₂ /生産数 (千個あたり)	427.88	419.32	492.54	+15.11%	×
			CO ₂ 排出量総量 (kg-CO ₂)	288,276	282,510	264,698	-8.18%	○
			使用量(kWh)	758,622	743,450	682,212		
	軽 油 使用量	本 社	kg-CO ₂ /生産数 (千個あたり)	37.68	36.93	51.46	+36.56%	×
			CO ₂ 排出量総量 (kg-CO ₂)	17,291	16,945	17,131	-0.92%	○
			使用量(ℓ)	6,702	6,568	6,640		
	ガソリン 使用量	全 社	kg-CO ₂ /生産数 (千個あたり)	6.80	6.66	7.61	+11.96%	×
			CO ₂ 排出量総量 (kg-CO ₂)	7,701	7,547	6,625	-13.97%	○
			使用量(ℓ)	3,319	3,253	2,856		
	都市ガス 使用量	本 社	kg-CO ₂ /生産数 (千個あたり)	4.07	3.99	4.95	+21.76%	×
			CO ₂ 排出量総量 (kg-CO ₂)	1,866	1,829	1,648	-11.68%	○
			使用量(m ³)	864	847	763		
	プロパン 使用量	多治見	kg-CO ₂ /生産数 (千個あたり)	0.82	0.80	0.74	-9.31%	○
			CO ₂ 排出量総量 (kg-CO ₂)	550	539	398	-27.66%	○
			使用量(kg)	183	179	133		
	リフト用 プロパン 使用量	本 社	kg-CO ₂ /生産数 (千個あたり)	2.55	2.50	2.41	-5.54%	○
			CO ₂ 排出量総量 (kg-CO ₂)	1,170	1,147	802	-31.46%	○
			使用量(kg)	390	382	267		
	合 計		kg-CO ₂ /生産数 (千個あたり)	392.21	384.36	466.71	+19.00%	×
			CO ₂ 排出量総量 (kg-CO ₂)	444,242	435,357	406,194	-8.56%	○

※評価 ○：目標達成、△基準年より減、×：目標未達成

環境方針 目標	項 目	工場名	単 位	基準値と目標		実績と評価		
				2021年度 基準年度	2023年度 目標	2023年度実績	増減率	評 価
水使用量 低減	水使用量	本 社	m³/生産数 (千個あたり)	1.01	0.99	1.15	+13.25%	×
			総 量(m³)	465	456	382	-17.85%	○
		多治見	m³/生産数 (千個あたり)	0.56	0.55	0.77	+39.44%	×
			総 量(m³)	374	367	416	+11.23%	×
廃棄物の 排出量 低減	一般 廃棄物 排出量	本 社	kg/生産数 (千個あたり)	0.92	0.90	1.87	+103.84%	×
			総 量(kg)	422	414	624	+47.87%	×
		多治見	kg/生産数 (千個あたり)	0.86	0.84	1.53	+78.10%	×
			総 量(kg)	580	568	824	+42.07%	×
	産業 廃棄物等 排出量	本 社	kg/生産数 (千個あたり)	269.80	264.40	260.61	-3.41%	○
			総 量(kg)	123,823	121,347	86,762	-29.93%	○
		多治見	kg/生産数 (千個あたり)	264.57	259.28	217.13	-17.93%	○
			総 量(kg)	178,250	174,685	116,687	-34.54%	○
工程内 不良 低減	工程内 不良率	本 社	不良率(%)	0.46	0.38	0.31	-0.07	○
		多治見		0.80	0.61	0.53	-0.08	○
製品への 環境配慮	調達する製品(付着するマーキング等、副資材も含め)についてSOC10物質が非含有であることを確実にする。							
地域社会と の共存	学区行事参加、美化運動・苦情の受付と対応。							

・電気使用量のCO₂排出量換算係数は、中部電力の2021年度値0.388kg-CO₂/kWhを使用する。

・生産数には加工不良数は含まない。

・工程内不良率は前年、前々年の実績合計の平均値から10%削減した値とした。

(工程内不良率実績：2020年度 本社0.29%、多治見工場0.60%、2021年度 本社0.46%、多治見工場0.80%、2022年度 本社0.39%、多治見工場0.55%)

・化学物質に関しては、極めて少量使用しているため、作成目標は設定せず、適正管理のみ実施する。

(2)2023 年度の環境経営計画の取組結果とその評価

CO2排出量の低減		※原単位での評価
■評価 目標未達成 エコアクション21の取り組みも10年が経過。社員の環境への意識も高いが、21年に比べ生産量減少が目標未達成の要因となった。	■次年度への取組 引き続き、電力やガソリンなどそれぞれの項目についてCO2排出量削減の対策に取り組む。	
電力使用量の低減		
■評価 目標未達成 使用量では目標達成、原単位では未達成。基準年に比べ生産量減少が大きな要因。節電の意識を全社員が持ち行動している。	■次年度への取組 引き続き、節電を心掛け取り組む。	
軽油使用量の低減		
■評価 目標未達成 製品運搬等の必要時にのみトラックを使用しているが定期便の為、生産量が減少してもトラック使用回数は昨年同様だったことに要因がある。	■次年度への取組 引き続き、エコドライブ、アイドリングストップの実施に取り組む。	
ガソリン使用量の低減		
■評価 目標未達成 主に本社・工場と多治見工場の往来に使用しているが生産量減少が大きな要因。	■次年度への取組 引き続き、エコドライブ、アイドリングストップの実施に取り組む。	
都市ガス使用量の低減		
■評価 目標未達成 温度の適正化、節水を呼びかけ、使用場所へ掲示。使用量では目標達成、原単位では未達成。生産量減少が大きな要因。	■次年度への取組 引き続き、温度の適正化、使用量の削減の呼びかけを行い、ガス使用量の節減を目指す。	
プロパンガス使用量の低減		
■評価 目標達成 寒い時期の使用量が多くなるが、温度の適正化、節ガスを呼びかけ、使用場所へ掲示し、社員へ呼びかけていた。	■次年度への取組 引き続き、温度の適正化、使用量の削減の呼びかけを行い、ガス使用量の節減を目指す。	
リフト用プロパンガス使用量の削減		
■評価 目標達成 必要時以外の使用はしなかった。	■次年度への取組 必要時以外の使用を控える等、引き続き取り組む。	
その他の低減		
水使用量の低減		
■評価 目標未達成 節水の意識を全社員が持ち、協力も大きいですが、昨年より使用量が増加。加工時に水を多く使用する製品の生産量増加が要因。	■次年度への取組 引き続き、節水を心掛け取り組む。	
一般廃棄物排出量の低減		
■評価 目標未達成 社内整理を行ったため、通常より排出量が増えた。コピー用紙の裏紙利用やゴミ分別の徹底を行った。	■次年度への取組 引き続き、分別の徹底や再利用をし、ゴミ削減に取り組む。コピー用紙や雑紙の古紙リサイクルを徹底する。	
産業廃棄物等排出量の低減		
■評価 目標達成 本社・工場未達成。金属くずも回収業者へ依頼しリサイクルに努めた。	■次年度への取組 引き続き、法遵守のもと廃液の排出量を把握し、金属くずの再利用に努める。	
工程内不良率の低減		
■評価 目標達成 重点品番を設定し、不良率低減に努めた。	■次年度への取組 引き続き、工程内不良を出さないよう努める。新入社員への教育を強化する。	
化学物質の適正管理		
■評価 目標達成 SOC10物質の非含有であることの確認は顧客の要求事項であり、新規仕入れ時に速やかに資料を取り寄せることができた。	■次年度への取組 引き続き、SOC10物質非含有宣言を続け、非含有であることを証明する。	

7.環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される環境関連法規は下記の通りであり、2024年3月末に遵守状況を確認、評価した結果、これらへの違反、苦情、訴訟はありませんでした。環境法規制の順守活動を通して、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありませんでした。

法令確認日	2024年3月31日
遵守確認日	

環境関連法規等	遵守事項または規制基準等	当社の適応及び対応	遵守評価
廃棄物処理法	産業廃棄物の適正保管	・保管基準の遵守 ・保管場所の表示	○
	産業廃棄物の委託処理	・収集運搬及び処分許可業者への委託	○
	運搬又は処分の委託基準の遵守	・委託契約書の締結	○
	マニフェストの管理	・マニフェストの交付、最終処分までの確認及び5年保管 ・交付状況の知事報告(2023/6)	○
	委託先の現地調査による確認	・優良認定業者はホームページを確認 ・優良でない委託先の現地確認(2024/3)	○
家電リサイクル法	特定家庭用機器廃棄物の収集運搬業者への適切な引き渡し、料金の支払い	・特定家庭用機器廃棄時のリサイクル料金の支払い (2022年度該当なし)	○
自動車リサイクル法	リサイクル料金の支払い、自治体に登録された引取業者への廃車の引渡し	・リサイクル料金の支払い (2022年度該当なし)	○
アイドリングストップの義務 (名古屋市)	従業者へのアイドリング・ストップの指導	・従業者へのアイドリング・ストップ指導	○
騒音規制法	対象施設の届け出と規制基準の遵守	・第3種区域の騒音(朝夕60dB昼65dB夜50dB)基準の遵守	○
		・施設設置時の届け出	○
振動規制法	対象施設の届け出と規制基準の遵守	・第3種区域の振動(昼65dB夜60dB)基準の遵守	○
		・施設設置時の届け出(新たに騒音・振動の特定施設等を設置しようとする場合、工事開始30日前までに届け出る。) 圧縮機の届け出 本社:4台、多治見:5台	○
自動車NOx・PM法	・自動車排出窒素酸化物等の排出抑制の努力 ・自動車NOxPM法適合車	・自動車排出窒素酸化物の排出要請に努める ・自動車NOxPM法適合車使用(自動車検査証の記載確認)	○
消防法	対象施設の届け出と適正管理	・油倉庫について「第4類第二石油類最大数量灯油300ℓ、第四石油類最大数量オイル1100ℓ」で消防署に届け出 ・法令遵守	○
下水道法	事故時の措置 (応急の措置の講じ、下水道局へ報告)	・油水分離装置を設置	○
		・事故時(下水に廃液が流れたとき等)の報告	事故なし
フロン排出抑制法	フロン回収時の法遵守及び簡易点検	・3ヶ月に1回の簡易点検	○
		・第一種特定製品廃棄実施者として法遵守での回収依頼	○
		・引取り証明書(写)の3年保管	○
水質汚濁防止法	特定施設等の設置の届け出(第5条第1項)	・2024/1/30に酸又はアルカリによる表面処理施設の届出書を提出(多治見:2台)。ただし廃液は全量産廃処理。	○
化学物質の適正管理	納入する製品についてのSOC10物質非含有宣言及び継続証明	・メーカーから検査データ入手し 環境負荷物質非含有を判定	○
	PRTR法に該当する化学物質の把握	・PRTR法に該当する化学物質有無の確認等	○

8.代表者による全体評価と見直し・指示

環境管理責任者による見直しに必要なコメント	発行日	2024年8月20日
	責任者	水谷 太一
1.環境経営目標とその達成状況 (達成した場合は設定に問題がなかったか、 次年度の環境経営目標設定について未達成の場合は、原因と次年度の環境経営目標や対応策について記載) 基準年2021年度に比べ、主力製品の減産や終了に伴い大きく生産量が減少した。 また自社トラックによる定期便での運搬業務の為、トラック使用回数は減らせなかった。その結果、電力や軽油使用量等、総量では目標達成したが、原単位評価は未達成だったと考えらる。		
2.環境経営計画の実施状況 (取り組みに問題がなかったか、次年度の取組について記載) 問題なかった為、次年度も継続して取り組む。		
3.環境関連法規の見直し、遵守状況 遵守している。		
4.外部からの苦情等の受付結果 なし		
5.その他(前回の指示事項等)		

代表者による変更の必要性の判断・指示				発行日	2024年8月20日
				責任者	水谷 太一
評価結果					
1.環境経営システム	☒ 有効に機能している	☐ 機能していない			
2.環境への取り組み	☒ 適切である	☐ 一部適切でない			
変更判断・指示					
1.環境経営方針の変更	☐ 有	☒ 無			
2.環境経営目標の変更	☐ 有	☒ 無			
3.環境経営計画の変更	☐ 有	☒ 無			
4.実施体制の変更	☐ 有	☒ 無			